

# 日本共産党ひめだ高宏の 2011市議会報告



## 毎日、元気に頑張っています

みなさんのご支援により再び市議会議員として働けるようになりました。みなさんの声をまっすぐ市政に届けること、命とくらしを守る防災と福祉のまちづくりをめざして頑張っています。当選直後に行われた11年6月の定例市議会に始まり、9月、12月、12年2月の4回の定例市議会本会議で一般質問を行いました。岩手県陸前高田市で

の災害ボランティア活動や震災で延期されていた県議選の応援に行った福島県伊達市で教えてもらった震災の経験を市政に生かすことが必要だと痛感しています。この1年間の議会活動をまとめました。ぜひお読みいただきご意見やご要望をお寄せください。

ひめだ高宏

運輸省第3港湾建設局を退職し、和歌山市会議員(5期目)、党市議団幹事長。議会運営委員、経済文教委員。住所は塩屋5-2-36 紀州ハイツ302号。電話080-1415-3951。趣味はテニスと演劇鑑賞。

### 2011年6月議会

- ・聞こえない防災無線の改善
- ・防災無線の目的と設置基準
- ・聴覚障害者への広報
- ・市役所ロビーに聴覚障害者用CS通信の設置を求める
- ・紀三井寺団地の公共交通の確保
- ・地元負担の考え方

### 2011年9月議会

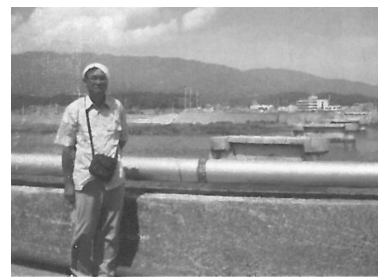
- ・津波避難対象地域全域で防災無線の可聴の調査を
- ・戸別受信機の無償貸与を求める
- ・消防力の強化を求める
- ・聴覚障害者のための手話通訳事業の改善
- ・市民会館に磁気ループの設置を
- ・景観条例と個々の景観について
- ・秋葉山の見えない展望台と壊れたアスレチックの設備
- ・和歌川に捨てられた自転車やバイクの撤去を求める

### 2011年12月議会

- ・防災ラジオの配布を求める
- ・住宅耐震化のためにも住宅リフォーム助成制度の創設を
- ・元気70パスを利用できない高齢者にタクシー券や紙パンツの支給などを
- ・「イノシシ」被害対策について
- ・防護柵の全額設置補助を
- ・イノシシ捕獲の報奨金の増額
- ・イノシシのDNA鑑定を

### 2012年2月議会

- ・住宅地のイノシシ対策に責任を持つ市の部署が必要
- ・住宅地のイノシシは市自ら捕獲を
- ・先進都市の若者向け雇用対策を取り入れよ
- ・生活困窮者や高齢者の「失業者対策事業」的な仕事づくりを
- ・障害者雇用の拡大を
- ・産業部に就業対策課の設置を



津波で土台だけ残った陸前高田市の気仙川の橋のそばで

2011年7月、震災ボランティアに行った陸前高田市で、民主市政誕生の原動力となった「市民の声」の菅野会長に被災地を案内してもらいました。菅野会長が「地震が起こった直後に停電となり、頼りは防災無線だけだった」と話してくれました。防災無線の改善とともに、避難場所となる山や施設の整備、避難場所への経路の改善めざし地域のみなさんと一緒に取り組みを進めていきたいと思ひます。 ひめだ高宏

市議会報告(2011年版) 日本共産党和歌山市会議員団 発行

〒640-8156 七番丁23番地 和歌山市役所3F TEL 435-1113

FAX 421-4181

Eメール jcpwkym@apricot.ocn.ne.jp ホムページ http://jcpwkym.sakura.ne.jp/



## ひめだ高宏の質問内容を報告します。

### ☆聞こえない防災無線の改善を



東日本大地震による津波警報の防災無線放送が多くの地域で「聞こえなかった」ことが分かりました。津波は、できるだけ早く高台に逃げる必要があることから、津波対象地域全域に警報が周知されることが必要です。

防災無線の増設や移設を行うとともに、他の自治体で取り組んでいる戸別受信機の無償貸与や防災ラジオの支給などを求めました。そのためにも自治会に協力依頼して、聞こえる家と聞こえない家がどこかということの調査を提案しました。

### ☆聴覚障害者や高齢者などに、目に見える警報の周知を



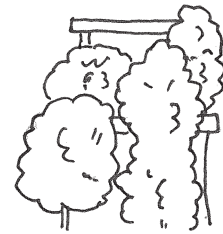
津波警報が発せられたときに市は聴覚障害者への広報を何もしていませんでした。私は、空からの広報など目に見える方法を提案しました。また、聴覚障害者団体の方々の要望により市役所に聴覚障害者向けのCS通信(アドラゴン)の設置を求め、本庁舎1階ロビーに設置されました。

### ☆イノシシ被害から市民を守る



名草山周辺にイノシシが出没し、農作物や墓地を荒らしています。県や市に対策を求める市民の集まりが広原地区と三葛地区で開かれました。広原では、くくりワナの許可やイノシシ捕獲の報償金の実態にあっていないことが、三葛ではイノシシと歩行者の遭遇による事故の心配が出されました。イノシシ対策は、市民と市が同じ立場に立てるにも関わらず、話し合いが噛み合っていないことから、問題を整理し、市の主体でイノシシ捕獲を進めるよう提案しました。

### ☆秋葉山や和歌川の整備



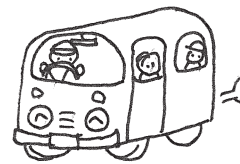
秋葉山頂にある展望台の周りの樹木が茂って展望できないことから、樹木の枝切りを求めました。また、山頂に設置されているアスレチック遊具が壊れたまま何年も放置されており、撤去を含め整備することを求めました。12年度に整備に関する予算が計上されました。和歌川にたくさんの自転車やバイクが捨てられて、「見苦しい」という声が寄せられました。和歌川町の川沿いだけで50以上も捨てられており、撤去を求めました。

### ☆障害者、高齢者福祉の充実



聴覚障害者団体から要望を受けて、市が行っている手話通訳派遣事業を生活実態に見合った利用となるように求めました。また、高齢者のためのバス低額利用などの元気70パスの充実を求めて、利用できるメニューを増やすよう提案しました。

### ☆紀三井寺団地の公共交通確保



日本共産党名草後援会の呼びかけでバス路線を復活させる運動が始まり、紀三井寺団地の公共交通を考える会が発足。私も参加し、市やバス会社に「廃止撤回」の署名を取り組み、市やバス会社に申し入れをしました。また廃止後は、市に対して路線バスに代わる公共交通の確保を求め署名を行い、懇談を重ねました。当該自治会はアンケート活動やバス会社や市への要望を重ねた結果、市は、「地元が主体的に取り組むこと」を条件にしながらも紀三井寺団地にバスを走らせることを決め、自治会との協議を重ねています。公共交通確保について、市の役割を果たすことや地元負担の軽減を求めました。